

# 平成29年度

## 石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

### 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で3年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

### 第11回、第12回研修会

- 日時 平成30年1月18日（木）、19日（金）9：35～
- 場所 こもればの降る丘 遊楽館
- 講師 小玉 有子先生（弘前医療福祉大学保健学部教授）  
高橋あつ子先生（早稲田大学大学院教職研究科教授）

小玉教授



高橋教授



ロールプレイによる演習

「言うことを聞かない生徒と  
説得しようとする教師」



安全な身体介入法の演習



#### ☆研修内容

- 18日午前：児童生徒面談・保護者面談
- 18日午後：ブリーフセラピーの基礎 修復的正義
- 19日午前：発達の特性理解と短期・中期目標設定
- 19日午後：感情コントロールと行動化への三次支援

パーソナルスペース  
に踏み込むと・・・



#### <受講者の声>

- 保護者面談の研修の中で「先生に会いにきてよかった」と思ってもらうことが大切であるという話があった。どうしても面談や指導の後には望ましい変容を期待してしまうのだが、目的そのものを履き違えてしまう自分に気づかされた。来週から二者面談期間が始まるが、各担任にも目的をよく検討するよう伝講したい。
- スケーリングクエスションは、スクールカウンセラーが子どもや保護者とのカウンセリングに取り入れていたが、今回研修を受けてその効用を実感することができた。未来志向、解決志向を大前提に活用してみたいと思う。「虫の話」はとても興味深い。軽快でとても明るい解決方法で素敵だと感じ入った。子どもたちの虫退治をしてみようと思った。

○ これまでも個別の指導計画に取り組んできたが、目標設定の大切さ、そのための実態把握の大切さについて考えさせられた。指導計画が必要な生徒が年々多くなってきているが、今日の講義で教えていただいたことを持ち帰り、特別支援コーディネーターと連携しながら改めて個別の指導計画を作成し直し、一人ひとりの生徒への支援にあたっていきたい。

○ 本日の研修では、様々なロールプレイをし、グループや全体で共有することで、暴力的な児童生徒に対する対応を学ぶことができた。発散段階までいかないように、不安や反抗段階でいかに適切な児童との関わり方ができるのかが鍵となるのだと感じた。現在担任している攻撃的な子への、明日からの指導にとってもヒントになった。

4人グループによる話し合い

